



2023年9月期 決算短信〔IFRS〕(連結)



2023年11月13日

上場会社名 株式会社LIFULL 上場取引所 東
 コード番号 2120 URL https://ir.lifull.com/
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)井上 高志
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員グループ経営推進本部長 (氏名)福澤 秀一 (TEL)03(6774)1603
 定時株主総会開催予定日 2023年12月21日 配当支払開始予定日 2023年12月22日
 有価証券報告書提出予定日 2023年12月22日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期の連結業績 (2022年10月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		当期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	36,405	1.9	1,959	17.2	1,634	17.9	1,055	△10.9	1,031	△12.6	2,874	△4.5
2022年9月期	35,730	△0.4	1,672	—	1,386	—	1,185	—	1,180	—	3,008	—

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上高 営業利益率
2023年9月期	円 銭 8.03	円 銭 8.01	% 3.2	% 3.3	% 5.4
2022年9月期	円 銭 8.96	円 銭 8.94	% 4.0	% 2.9	% 4.7

(参考) 持分法による投資損益 2023年9月期 △197 百万円 2022年9月期 △202 百万円

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
2023年9月期	百万円 51,102	百万円 32,652	百万円 32,554	% 63.7	円 銭 254.34
2022年9月期	百万円 48,727	百万円 31,123	百万円 30,991	% 63.6	円 銭 235.18

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2023年9月期	百万円 6,233	百万円 △1,743	百万円 △5,079	百万円 16,510
2022年9月期	百万円 2,697	百万円 388	百万円 △54	百万円 16,521

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2022年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 2.25	円 銭 2.25	百万円 296	% 25.1	% 1.0
2023年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 4.26	円 銭 4.26	百万円 545	% 53.1	% 1.7
2024年9月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	百万円 —	% —	% —

(注1) 1株当たりの配当金は、配当性向25%を基準に非経常的な特殊要因による影響を考慮して計算し、小数点第3位を四捨五入しております。

(注2) 1株当たりの配当金は、期末時点の発行済株式数、配当性向は、期中平均株式数をもとに計算しております。

(注3) 2024年9月期期末の配当金は、配当性向25%を基準に、期末時点の発行済株式数をもとに計算し、配当する予定です。

3. 2024年9月期の連結業績予想 (2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	1.6	3,000	53.1	1,350	30.9	10.06

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期	134,239,870株	2022年9月期	134,239,870株
② 期末自己株式数	2023年9月期	6,245,073株	2022年9月期	2,458,270株
③ 期中平均株式数	2023年9月期	128,460,800株	2022年9月期	131,781,600株

(参考) 個別業績の概要

2023年9月期の個別業績（2022年10月1日～2023年9月30日）

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期	22,904	0.8	1,930	—	2,628	—	1,526	—
2022年9月期	22,731	△1.6	△599	—	△130	—	△378	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期	11.88	11.86
2022年9月期	△2.87	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期	33,326	24,348	73.1	189.47
2022年9月期	34,644	24,131	69.7	182.46

(参考) 自己資本 2023年9月期24,348百万円 2022年9月期24,131百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

前期は国内の主力事業であるLIFULL HOME'Sの競争力強化に向けて、サービスの高度化やブランド強化等の集中的な成長投資を実施しておりました。当期は売上が堅調に推移したことに加え、ブランディング費用を計画的に前々期と同水準にまで抑制した影響もあり、前期実績と比較して大きく改善しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）5ページ「今後の見通し」をご覧ください。
- ・当社は、以下のとおり投資家向け説明会をオンラインにて開催する予定です。この説明会で投影した資料、動画、主なQ&A等については開催後速やかに当社IRサイトに掲載する予定です。
- ・2023年11月14日（火）・・・機関投資家・アナリスト向けオンライン決算説明会
- ・株式会社LIFULL IRサイト <https://ir.LIFULL.com/>

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結財政状態計算書	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結持分変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期(2022年10月~2023年9月)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症への対応と、経済活動の両立により、景気回復の動きが見られております。一方、世界的なインフレや円安の進行等により、エネルギー価格や原材料価格を始めとする物価上昇が続いており、今後への不透明感を一部残している状況となりました。

当社の主要な顧客である建設・不動産業界においては、新設住宅着工件数は前年度比97%と減少しているものの、中古も含めた物件取引量は堅調に推移している他、平均取引価格の上昇が継続しており、市況は底堅く推移しております。海外においては、世界的なインフレや各国の金融引き締め、その他の国際情勢等の影響もあり、一部では住宅市場や広告市場が低迷している国も出ております。

このような環境のもと、当社グループは、主力サービスである不動産関連情報サービスを含むHOME'S関連事業と海外事業を中心に、中長期的な事業成長に向けた積極投資を実施する一方、民泊事業等の周辺事業の事業売却や投資凍結を行い、主力事業への経営リソースの集中も実施してきました。

HOME'S関連事業では、クライアント、ユーザーへの提供価値の向上と競争力強化に向けた、プロダクトの強化・改修と、クライアントネットワークの強化・拡大に取り組みました。

海外事業では、タイでオンラインを活用した不動産取引を行うDXエージェントのFazWaz Thailand Co. Ltd. (以下、「FazWaz」) や、メキシコで大手不動産ポータルを運営するMedios de Clasificados, S. de R. L. de CV (以下、「Lamudiメキシコ」) を子会社化することで、戦略的サービス強化地域におけるシェア拡大に取り組みました。FazWazは当初計画を上回って進捗しており、中期の事業計画を見直したことにより条件付対価(アーンアウト)を追加計上いたしました。

その他では、不動産を活用し地域創生に資する事業に投資を行う地域創生ファンドにおいて、ホテル開発案件2件とホテル建設用地の売却を実施したことによる一時的な利益が発生しております。

これらの結果、当期における連結業績は、売上収益36,405百万円(前期比+1.9%)、営業利益1,959百万円(前期比+17.2%)、税引前利益1,634百万円(前期比+17.9%)、当期利益1,055百万円(前期比△10.9%)、親会社の所有者に帰属する当期利益1,031百万円(前期比△12.6%)となりました。

なお、当期におけるセグメント毎の売上収益及びセグメント利益(損失△)は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

セグメントの名称	売上収益		セグメント利益(損失△)	
	金額	前期比(%)	金額	前期比(%)
(1) HOME'S関連事業	23,165	△11.2	2,644	+657.0
(2) 海外事業	8,668	+20.4	3	(注2)
(3) その他	4,926	+79.4	△204	(注3)

(注1) セグメント間取引については、相殺消去しておりません。

(注2) 前期のセグメント利益は567百万円であります。

(注3) 前期のセグメント損失は661百万円であります。

①HOME'S関連事業

当セグメントは、不動産・住宅情報サイト「LIFULL HOME'S」や不動産投資と収益物件の検索サイト「健美家」、及び関連事業で構成されています。

当期は、クライアント・ユーザーへの提供価値の向上と競争力強化に向けて、より一人ひとりにぴったりの住まい探しを支援できるメディアに進化させるべく、AI技術を活用した新機能の開発や、デザインを含むユーザー体験の品質向上に向けた改修、クライアントネットワークの拡大・強化に取り組んでまいりました。サービス開発への投資を継続した一方で、ブランディング費用については計画的に抑制し前々期と同水準に戻しました。これらの取組みが奏功し、「LIFULL HOME'S」を活用した問合せ数は維持したまま収益性を向上することができました。

以上の結果、当事業の売上収益は23,165百万円（前期比△11.2%）、前期に株式会社LIFULL Marketing Partners（以下、「LMP」）の株式譲渡を実施しており、当該株式譲渡の影響を除いた場合（LMPの実績を除いた前連結会計年度の実績と比較した場合）の当事業の売上収益は同+2.7%と増収となりました。主に広告宣伝費の抑制が影響し、セグメント利益は2,644百万円（同+657.0%）となりました。

②海外事業

当セグメントは、主にLIFULL CONNECTが運営する不動産・住宅情報サイトやDXエージェント等により構成されています。

当期は、成長戦略「Moving to Direct」（ユーザーとクライアントへのサービス提供価値を高めながらポータルサイトへの投資を強化する戦略）をさらに一歩前進させ、重点地域であるラテンアメリカと東南アジアにおいて、2つのM&A案件を実施しました。東南アジア地域においてDXエージェントを担うFazWazを、ラテンアメリカ地域においてメキシコで大手不動産ポータルを運営するLamudiメキシコを子会社化しました。特にFazWazは子会社化後も順調に成約件数を拡大させており、LIFULL CONNECT傘下にFazWazが加わったことにより、海外事業のスコープがDXエージェントまで大きく広がりました。

一方で、様々な国際情勢や世界的な金融引き締め等を背景に主要国の不動産市況が低迷しており、クライアントの倒産や広告出稿量の抑制等により、アグリゲーションサイトにおけるプレミアム広告は計画を大幅に下回って着地しました。

以上の結果、当事業の売上収益は8,668百万円（同+20.4%）、セグメント利益は3百万円（前期はセグメント利益567百万円、563百万円の悪化）となりました。

③その他

その他には、老人ホーム・介護施設の検索サイト「LIFULL 介護」、レンタル収納スペース情報検索サイト「LIFULL トランクルーム」、地方創生事業、地域創生ファンド等のサービスがあります。

「LIFULL 介護」を運営するLIFULL seniorにおいて、ブランディング強化のための広告宣伝費が増加している一方、不動産を利活用し地域創生に資する事業に投資を行う地域創生ファンドにおいて、ホテル開発案件2件と、ホテル建設用地1件の売却を行いました。

当事業の売上収益は4,926百万円（同+79.4%）、セグメント損失は204百万円（前期はセグメント損失661百万円、456百万円の改善）となりました。

また、レンタル収納スペース情報検索サイト「LIFULL トランクルーム」を運営する株式会社LIFULL SPACEについては、今後の事業成長及びリソースの集約を目的に株式譲渡することを決議しております。

以下の項目等、より詳しい決算内容に関しては、当社IRサイトより、2023年11月13日発表の「2023年9月期 決算説明資料」をご覧ください。

参考URL：<https://ir.lifull.com/ir/ir-data/>

<決算説明資料の主な項目>

- | | | |
|--------------|-----|--|
| ・簡易損益計算書 | ・・・ | 簡易損益計算書（IFRS） |
| ・セグメント別売上収益 | ・・・ | セグメント別売上収益（IFRS） |
| ・業績予想の進捗状況 | ・・・ | 簡易損益計算書、サービス別売上収益 |
| ・事業の状況 | ・・・ | セグメント毎の主な取組状況 |
| ・四半期別の業績推移 | ・・・ | 連結損益計算書（簡易版）、連結セグメント別損益 |
| ・外部市況データ月別推移 | ・・・ | マンション発売戸数、マンション価格、新設住宅着工戸数、日本全国移動者数、日本人口 |

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

流動資産の残高は23,064百万円となり、前連結会計年度末(以下、前期末)に比べ1,947百万円減少しております。主な要因は、現金及び現金同等物の減少10百万円、売掛金及びその他の短期債権の増加169百万円、その他の短期金融資産の増加115百万円、その他の流動資産の減少2,220百万円であります。

(非流動資産)

非流動資産の残高は28,038百万円となり、前期末に比べ4,322百万円増加しております。主な要因は、有形固定資産の減少145百万円、使用権資産の減少556百万円、のれんの増加5,566百万円、無形資産の減少457百万円、持分法で会計処理されている投資の減少576百万円、その他の長期金融資産の増加511百万円、繰延税金資産の増加19百万円、その他の非流動資産の減少39百万円であります。

以上の結果、当期末の資産合計は51,102百万円となり、前期末に比べ2,375百万円増加しております。

(流動負債)

流動負債の残高は12,127百万円となり、前期末に比べ1,262百万円減少しております。主な要因は、買掛金及びその他の短期債務の増加222百万円、借入金の減少2,763百万円、リース負債の増加4百万円、未払法人所得税の増加347百万円、及び、その他の流動負債の増加925百万円であります。

(非流動負債)

非流動負債の残高は6,322百万円となり、前期末に比べ2,108百万円増加しております。主な要因は、借入金の減少165百万円、リース負債の減少571百万円、その他の長期金融負債の増加3,077百万円、繰延税金負債の減少70百万円、及び、その他の非流動負債の減少161百万円等であります。

以上の結果、当期末の負債合計は18,449百万円となり、前期末に比べ845百万円増加しております。

(資本)

当期末における資本の残高は32,652百万円となり、前期末に比べ1,529百万円増加しております。主な要因は、親会社の所有者に帰属する当期利益による利益剰余金の増加1,031百万円、剰余金の配当による利益剰余金の減少296百万円、その他の包括利益によるその他の資本の構成要素の増加1,818百万円、自己株式の取得1,000百万円、及び、非支配持分の減少33百万円等であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当期における現金及び現金同等物(以下、資金)は、10百万円減少し、16,510百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は6,233百万円となり、前連結会計年度(以下、前期)の増加した資金2,697百万円と比べ、3,536百万円の増加となりました。主な要因は、当期は減損損失が128百万円発生したこと、税引前当期利益が1,634百万円と前期に比べ247百万円増加したこと、減価償却費及び償却費が1,980百万円と前期に比べ59百万円増加したこと、売掛金及びその他の短期債権の増減額が675百万円と前期に比べ2,413百万円増加したこと、買掛金及びその他の短期債務の増減額が△1,772百万円と前期に比べ3,947百万円減少したこと、その他が3,655百万円と前期に比べ4,823百万円増加したこと、及び、法人所得税の支払額が132百万円と前期の法人所得税の還付額205百万円に比べ338百万円減少したこと等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は1,743百万円となり、前期の増加した資金388百万円と比べ、2,132百万円の減少となりました。主な要因は、前期は事業譲受による支出が453百万円、子会社株式の売却による収入が2,440百万円、関連会社株式の取得による支出が800百万円それぞれ発生していたこと、当期は関連会社株式の売却による収入が858百万円発生したこと、有形固定資産の取得による支出が131百万円と前期に比べ39百万円増加したこと、無形資産の取得による支出が388百万円と前第3四半期に比べ198百万円減少したこと、子会社の取得による支出が1,264百万円と前期と比べ969百万円増加したこと、貸付による支出が2,442百万円と前期に比べ1,457百万円増加したこと、貸付金の回収による収入が1,552百万円と前期に比べ410百万円増加したこと、及び、その他が56百

万円と前期に比べ50百万円増加したこと等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は5,079百万円となり、前期の減少した資金54百万円と比べ、5,025百万円の減少となりました。主な要因は、前期は長期借入れによる収入が1,319百万円発生していたこと、当期は短期借入れによる収入が400百万円と前期に比べ103百万円減少したこと、短期借入金の返済による支出が1,800百万円と前期に比べ1,549百万円増加したこと、長期借入金の返済による支出が1,592百万円と前期に比べ1,187百万円増加したこと、配当金の支払額が296百万円と前期に比べ180百万円減少したこと、非支配持分への配当金の支払額が57百万円と前期に比べ52百万円増加したこと、及び、自己株式の取得による支出が1,000百万円と前期に比べ1,000百万円増加したこと等であります。

(4) 今後の見通し

次期における連結業績予想は以下のとおりとなっております。

(単位：百万円)

	当期実績 (2023年9月期)	次期業績予想 (2024年9月期)	増減額	増減率 (%)
売上収益	36,405	37,000	+594	+1.6
HOME'S関連事業	23,158	24,200	+1,041	+4.5
海外事業	8,320	10,300	+1,979	+23.8
その他事業	4,926	2,500	▲2,426	▲49.3
営業利益	1,959	3,000	+1,040	+53.1
親会社の所有者に帰属する当期利益	1,031	1,350	+318	+30.9

(注)セグメント間取引については相殺消去しております。

主な販売管理費予想を含めた業績予想の詳細に関しては当社IRサイトより2023年11月13日発表の「2023年9月期 決算説明資料」をご覧ください。

参考URL：<https://ir.lifull.com/ir/ir-data/>

上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に関する仮定を前提としております。実際の業績は、今後の様々な要因により上記の予想とは異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性及び利便性の向上を図るため、2016年3月期第1四半期決算より国際会計基準(IFRS)を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当連結会計年度 (2023年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	16,521	16,510
売掛金及びその他の短期債権	4,461	4,630
その他の短期金融資産	1,068	1,183
その他の流動資産	2,960	739
流動資産合計	25,011	23,064
非流動資産		
有形固定資産	1,191	1,045
使用権資産	2,656	2,100
のれん	11,499	17,066
無形資産	2,961	2,504
持分法で会計処理されている投資	1,112	536
その他の長期金融資産	1,528	2,040
繰延税金資産	2,716	2,735
その他の非流動資産	49	9
非流動資産合計	23,715	28,038
資産合計	48,727	51,102

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当連結会計年度 (2023年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
買掛金及びその他の短期債務	3,036	3,259
借入金	8,092	5,329
リース負債	693	698
未払法人所得税	250	598
その他の流動負債	1,316	2,241
流動負債合計	13,389	12,127
非流動負債		
借入金	462	297
リース負債	2,036	1,464
引当金	511	511
その他の長期金融負債	200	3,278
繰延税金負債	479	408
その他の非流動負債	523	361
非流動負債合計	4,214	6,322
負債合計	17,603	18,449
資本		
親会社の所有者に帰属する持分		
資本金	9,716	9,716
資本剰余金	10,033	10,035
利益剰余金	11,018	11,754
自己株式	△1,009	△2,009
その他の資本の構成要素	1,233	3,057
親会社の所有者に帰属する持分合計	30,991	32,554
非支配持分	131	97
資本合計	31,123	32,652
負債及び資本合計	48,727	51,102

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
売上収益	35,730	36,405
売上原価	4,055	3,856
売上総利益	31,674	32,548
販売費及び一般管理費	31,372	30,091
その他の収益	1,492	793
その他の費用	122	1,291
営業利益	1,672	1,959
金融収益	5	61
金融費用	89	189
持分法による投資損失	△202	△197
税引前当期利益	1,386	1,634
法人所得税費用	201	579
当期純利益	1,185	1,055
当期利益の帰属		
親会社の所有者に帰属	1,180	1,031
非支配持分に帰属	4	24
合計	1,185	1,055
		(単位：円)
親会社の所有者に帰属する1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益	8.96	8.03
希薄化後1株当たり当期利益	8.94	8.01

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
当期純利益	1,185	1,055
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
FVTOCIの資本性金融資産	38	△174
純損益に振り替えられることのない項目 合計	38	△174
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
為替換算差額	1,610	2,177
持分法適用会社におけるその他の包括利 益に対する持分	174	△184
純損益に振り替えられる可能性のある項 目合計	1,785	1,992
税引後その他の包括利益合計	1,823	1,818
当期包括利益合計	3,008	2,874
以下に帰属する当期包括利益		
親会社の所有者に帰属	3,003	2,850
非支配持分に帰属	4	24
合計	3,008	2,874

(3) 連結持分変動計算書

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2021年10月1日残高	9,716	9,982	10,296	△1,009	△572	28,413	124	28,538
当期利益	—	—	1,180	—	—	1,180	4	1,185
その他の包括利益	—	—	—	—	1,823	1,823	—	1,823
当期包括利益合計	—	—	1,180	—	1,823	3,003	4	3,008
剰余金の配当	—	—	△477	—	—	△477	△5	△482
株式報酬取引	—	51	—	—	—	51	—	51
利益剰余金への振替	—	—	20	—	△20	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0	—	△0
—	—	—	△1	—	1	—	7	7
所有者との取引額等合計	—	51	△458	△0	△18	△425	1	△423
2022年9月30日残高	9,716	10,033	11,018	△1,009	1,233	30,991	131	31,123

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2022年10月1日残高	9,716	10,033	11,018	△1,009	1,233	30,991	131	31,123
当期利益	—	—	1,031	—	—	1,031	24	1,055
その他の包括利益	—	—	—	—	1,818	1,818	—	1,818
当期包括利益合計	—	—	1,031	—	1,818	2,850	24	2,874
剰余金の配当	—	—	△296	—	—	△296	△60	△357
株式報酬取引	—	2	—	—	6	9	—	9
利益剰余金への振替	—	—	1	—	△1	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△1,000	—	△1,000	—	△1,000
非支配持分株主との資本取引	—	—	—	—	—	—	3	3
所有者との取引額等合計	—	2	△294	△1,000	5	△1,287	△57	△1,345
2023年9月30日残高	9,716	10,035	11,754	△2,009	3,057	32,554	97	32,652

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期利益	1,386	1,634
減価償却費及び償却費	1,920	1,980
減損損失	—	128
金融収益	△5	△61
金融費用	89	189
売掛金及びその他の短期債権の増減額(△は増加)	△1,738	675
買掛金及びその他の短期債務の増減額(△は減少)	2,174	△1,772
その他	△1,168	3,655
小計	2,658	6,429
利息及び配当金の受取額	4	5
利息の支払額	△172	△69
法人所得税の支払額又は還付額(△は支払)	205	△132
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,697	6,233
投資活動によるキャッシュ・フロー		
資本性金融資産の売却による収入	20	3
有形固定資産の取得による支出	△92	△131
有形固定資産の売却による収入	7	2
無形資産の取得による支出	△586	△388
事業譲受による支出	△453	—
子会社の取得による支出	△295	△1,264
子会社株式の売却による収入	2,440	—
敷金及び保証金の差入による支出	△18	△48
敷金及び保証金の返還による収入	6	60
関連会社株式の取得による支出	△800	—
関連会社株式の売却による収入	—	858
貸付による支出	△985	△2,442
貸付金の回収による収入	1,141	1,552
その他	5	56
投資活動によるキャッシュ・フロー	388	△1,743
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	503	400
短期借入金の返済による支出	△250	△1,800
長期借入れによる収入	1,319	—
長期借入金の返済による支出	△404	△1,592
配当金の支払額	△477	△296
リース負債の返済による支出	△739	△742
非支配持分への配当金の支払額	△5	△57
非支配持分からの払込による収入	—	3
自己株式の取得による支出	△0	△1,000
その他	—	6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54	△5,079
現金及び現金同等物の為替変動による影響	343	578
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,375	△10
現金及び現金同等物の期首残高	13,145	16,521
現金及び現金同等物の期末残高	16,521	16,510

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び子会社は、主に提供するサービス内容や業績管理の構成単位を基礎として、事業セグメントを「HOME'S 関連事業」、「海外事業」の2報告セグメントに区分しております。

各報告セグメントに属するサービスの種類は以下のとおりであります。

報告セグメント	サービスの種類
HOME'S 関連事業	主に不動産・住宅情報サイト「LIFULL HOME'S」や不動産投資と収益物件の情報サイト「健美家」、及び関連事業等
海外事業	主に海外の不動産・住宅情報サイトやDXエージェント等

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目

報告セグメントの会計方針は当社グループの会計方針と同じであります。

報告セグメント間の売上収益は市場実勢価格に基づいております。

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目は以下のとおりであります。

前連結会計年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他 (注2)	合計
	HOME'S関連事業	海外		
売上収益				
外部顧客からの売上収益	26,067	6,938	2,725	35,730
セグメント間の売上収益	15	263	20	299
計	26,083	7,201	2,745	36,030
セグメント利益(△損失)(注1)	349	567	△661	255
その他の収益及び費用(純額)				
営業利益				
金融収益及び費用(純額)				
持分法投資損益(△損失)				
税引前当期利益				
その他の項目				
減価償却費及び償却費	1,203	615	85	1,903
	調整額(注3)	連結		
売上収益				
外部顧客からの売上収益	—	35,730		
セグメント間の売上収益	△299	—		
計	△299	35,730		
セグメント利益(△損失)(注1)	47	302		
その他の収益及び費用(純額)		1,369		
営業利益		1,672		
金融収益及び費用(純額)		△83		
持分法投資損益(△損失)		△202		
税引前当期利益		1,386		
その他の項目				
減価償却費及び償却費	—	1,903		

(注) 1 セグメント利益(△損失)は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、老人ホーム・介護施設の検索サイト「LIFULL介護」、レンタル収納スペース情報検索サイト「LIFULLトランクルーム」及びその他の新規事業等が含まれております。

3 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去が含まれております。

当連結会計年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注2)	合計
	HOME'S関連事業	海外		
売上収益				
外部顧客からの売上収益	23,158	8,320	4,926	36,405
セグメント間の売上収益	6	347	—	354
計	23,165	8,668	4,926	36,759
セグメント利益(△損失)(注1)	2,644	3	△204	2,443
その他の収益及び費用(純額)				
営業利益				
金融収益及び費用(純額)				
持分法投資損益(△損失)				
税引前当期利益				
その他の項目				
減価償却費及び償却費	1,095	778	90	1,964
	調整額(注3)	連結		
売上収益				
外部顧客からの売上収益	—	36,405		
セグメント間の売上収益	△354	—		
計	△354	36,405		
セグメント利益(△損失)(注1)	13	2,457		
その他の収益及び費用(純額)		△497		
営業利益		1,959		
金融収益及び費用(純額)		△127		
持分法投資損益(△損失)		△197		
税引前当期利益		1,634		
その他の項目				
減価償却費及び償却費	—	1,964		

(注) 1 セグメント利益(△損失)は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、老人ホーム・介護施設の検索サイト「LIFULL介護」、レンタル収納スペース情報検索サイト「LIFULLトランクルーム」及びその他の新規事業等が含まれております。

3 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去が含まれております。

(1株当たり情報)

親会社の所有者に帰属する1株当たり当期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当連結会計年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
親会社の所有者に帰属する当期利益(△損失) (百万円)	1,180	1,031
基本的期中平均普通株式数(株)	131,781,600	128,460,800
希薄化性潜在的普通株式の影響	269,712	261,314
希薄化後の期中平均普通株式数	132,051,312	128,722,114
親会社の所有者に帰属する1株当たり当期利益(円)		
基本的1株当たり当期利益(△損失)	8.96	8.03
希薄化後1株当たり当期利益(△損失)	8.94	8.01

(注)当社が発行する新株予約権は、希薄化効果を有していないため、希薄化後1株当たり当期利益の算定に含めておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。